

(別添3)

【山口市】

校務DX計画

山口市ではこれまで、県統合型校務支援システムをはじめ、保護者への一斉連絡配信システムや電子文書の一元管理ソフト、授業支援アプリなどを最大限活用し校務DX化を進めてきました。その結果、多くの学校でデジタル化が進んでいますが、「GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト」に基づく自己点検の結果、完全デジタル化には至っていません。

今後、さらなる校務DXの推進に向けて、以下の取り組みを進めていきます。

① 児童生徒や保護者連絡のデジタル化の強化

保護者へのお便りや配布物は多くの学校でクラウドサービスが利用されていますが、完全デジタル化に向けて取り組みを強化します。効率的な連絡体制を構築するとともに、保護者への調査・アンケートもクラウドサービスで実施・集計し、迅速かつ正確なデータ収集と意思決定を促進します。

② 教育活動とコミュニケーションの効率化

教職員はクラウドサービスを活用して保護者との日程調整を行い、業務を効率化します。学校説明会や保護者面談等にはオンライン形式を積極的に導入し、対面とのハイブリッド形式で実施します。また、児童生徒への連絡もクラウドサービスで完全デジタル化し、迅速で効率的な情報共有の実現を目指します。

③ 教育のデジタル化と教職員間の連携強化

職員会議や学校間で扱う資料はクラウドアプリで共有し、ペーパーレス化を推進します。教職員間の情報共有もクラウドサービスを活用し、ITリテラシーを向上させ、連携を強化します。さらに、教職員が作成した教材などをクラウド上で共有し、資源を有効活用しながら教育の質を向上させます。

④ FAX・押印の原則廃止

教育ネットワーク環境の不具合による緊急時や、学校から保護者または教育委員会から学校に対して特別に押印が必要な場合を除き、原則廃止に向け働きかけます。

⑤ 次期校務システム導入（R8年度以降）に向けた検討

現行システムにおける優位性（名簿情報の入力や学齢簿データから取り込むことで手入力作業自体を発生させない機能等）は次期システムにも踏襲しつつ、クラウド化やセキュリティ面の強化についても他自治体と共同で検討を進めます。併せて、次期システムへ円滑に移行できるよう研修やサポートできる体制を整えます。

これらの施策を通じて、山口市は校務DXを一層加速させ、教育現場の業務効率化とペーパーレス化により負担を軽減し、教育の質を向上させることを目指します。